

『東京港臨海道路』

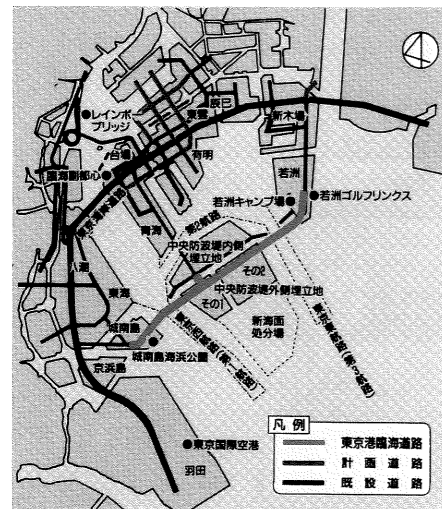
この道路は大田区城南島を起点とし、江東区若洲までの臨海部を結ぶもので、途中臨海副都心（“レインボータウン”）への分岐も含む延長約8kmの交通基盤となるものです。（図-1参照）

東京西航路の横断は海底トンネルで、沈埋函という箱をあらかじめ大井ドライドック（城南野鳥大橋横）で築造し、現地まで浮かせて運び、沈めて接合する施工方法が採られています。

現在、“レインボータウン”とを結ぶ第1期工事が平成13年度完成目途に進められており、城南島地区においても平成5年度から工事が行われています。

次回以降、この臨海道路の平面、縦断の姿や海底トンネル沈埋函の施工について等の説明を通して、城南島にできる施設のふだん知らなかったことや気づけなかったことも含め紹介していく予定です。

図-1



■東京港周辺の主な道路網

『公共施設案内について』

城南島地域の発展は、ここに動める企業相互の親睦と理解はもとより、公共施設にもっと親んでもらうことから深まるとの観点からいろいろ紹介記事を掲載します。

『大田市場』

大田区東海3丁目2番（花き部は2丁目2番）

1、概要

大田市場は、既存の神田市場・荏原市場及び蒲田分場と、大森市場の3市場1分場を廃止、統合して、青果・水産・花きを取扱う総合市場として誕生。昭和61年度から工事にかかり、平成元年度に業務が開始。計画取扱規模（日量）は、青果物3,000トン、水産物300トン、花き200万1,000本です。特に青果物においては、施設規模、取扱量とともにわが国最大の市場です。

2、特徴及び魅力

従来の市場とは違う特徴、魅力について紙数の都合により何回かに分けて紹介します。

(1) 青果部・水産物部・花き部を設置し、101店舗の関連業者を擁する総合市場です。

(2) 広い敷地（38万6,000㎡）に施設を効率的に配置し、大規模な駐車場約5,000台を確保し、買出しに来る人達にとって利用しやすい市場です。

(3) 催物等

「大田市場まつり」（毎年9月～10月頃）
沢山の区民・都民でにぎわうパズールとコンサートをメインとするイベント。
「大田市場文化祭」（毎年11月頃）、絵画、書、焼き物、手芸、生け花等

『城南島産業廃棄物破碎処理施設』

東京都では、都内中小企業から排出される産業廃棄物について都の処分場へ受入れを実施してきてます。現在建設されている新海面処分場に引き続き受入れを行うためには中間処理が必要となり、本施設はそのためのものです。

主な用途は、廃プラスチック、金属やガラスくずなどの中間処理（破碎処理）で廃酸、廃アルカリなど危険物は扱わない方針とのことです。

施設の建設工事が、（財団法人）東京都環境整備公社のもと、城南島3丁目3番で現在行われております。

施設の規模は510トン/6.5時間/日です。今回は、処理施設のしくみなどの紹介を予定しております。

『東京港野鳥公園』

(TEL.3799-5031)

同公園は、平成元年に開園中には潮入りの池、東淡水池、西淡水池があり観察小屋も四棟あって四季折りおりの野鳥を楽しむことができます。野鳥の種類は開園以来170余種を記録。平成8年度の入園者は58,356人でした。催し物としては、野鳥観察会等を毎月行っていますのでぜひいらしてくださいとのこと。（行事カレンダーあります）

『城南島海浜公園』

(TEL.3799-6401) 広さ：6万㎡

同公園は平成3年にキャンプ場を備えた公園として開園し、羽田空港に近いので離発着する飛行機を眺めることが出来ます。

キャンプ場の主な施設はテントサイト10カ所、炊事場2棟、調理台8基、洗い場2カ所、ファイヤーサークル2カ所等があります。平成8年度のキャンプ場利用者は23,227人でした。公園の一部に22台収容できるオートキャンプ場を6月に供用開始予定で整備中です。

将来計画：海のふれあいゾーン（親水護岸、砂浜、磯、釣り施設）を整備予定。

編集後記

再スタートする城南島タイムズの編集は、城南島連合会の新聞委員会のみなさん及び連合会の賛助会員である（財）東京港埠頭公社建設発生土管理事務所の秋葉、渡辺、佐藤が担当していきます。多くの方が愛読していただける紙面づくりを心掛けていきたいです。

※この用紙は再生紙を使用しています。

城南島タイムズ



大田区長挨拶文

城南島連合会発足11年とお聞きしました。この間の関係者各位のご努力に敬意とお祝いを申し上げます。

連合会では、埋立地への工場集団移転や操業地域環境改善、会員企業の悩みや問題解決に共同して取り組むなど、同じ地域で操業する仲間として努力されてきました。バブル崩壊、不況の長期化など企業経営者にとっては苦労の連続の時期、ご苦労が多かったと推察いたします。

しかし、皆さんの企業家精神と製造業にかける使命感、なんとしても明るさを見出さなければの思いと、皆さんの協力が今日までの基盤にあったと考えます。

「大田区は、産業のまちである。区民は、産業が区民生活を支え、ものづくり機能が日本や世界の人々の共有財産である事を認

識して将来にわたって育てていこう。」

平成7年10月、大田区産業のまちづくり条例が制定され、その前文に書かれています。

その最先端が城南島に集結しており、新技術・新製品にチャレンジ、それは長年培われた基礎技術に支えられています。ナショナルテクノポリス、国内はもとより世界の財産として今注目を集めています。

皆さんの企業活動は、以前から行政の区域を越えて展開されています。遅まき乍ら区としても中小企業の小回りの効くノウハウ集積を生かして、より広域な営業展開の可能性をと、関西そして東日本各地の工業集積地との連携を図ることにしました。

大田の誇るべき製造業を支える城南島連合会加盟各社の皆さんが、明日に向かって基盤を整えられ、各地に大田からの製品を、技術を、人材を送り出し、還流させて活性

城南島連合会

発行元
新聞委員会

〒143 東京都大田区城南島2-3-8
電話 (03)3790-8601

1997年（平成9年）

4/30（第8号）



化されるように期待いたします。

そのためには、益々連帯の共同意識を醸成される連合会活動が発展されることをお祈りいたします。

連合会長挨拶文

皆さん今日は、連合会発足以来すでに11年がすぎました。そして城南島における唯一の情報紙「JYONANタイムズ」がこの島に存立する企業、そしてそこに働く多くの人達の大きな期待のもとに発刊され7年になります。

今再刊するにあたり創刊号から7号までをあらためて手にしてみますと、それぞれの紙面が城南島ならではの素晴らしい内容をもったものばかりです。今日までたづさわって来られたスタッフの方々にあらためて敬意を表するものです。11年の歳月は先をみれば大変よく感じますが、すぎた月日は実に早く感じるものです、しかしこの間実に多くの様々な事があった事をこの新聞の記事がたづさえて居ります。7号で止った事の理由も読み取れます。その第一は何と言っても日本経済ががたがた経験をした事

のないバブルの崩壊とゆう変動の中で我々中小企業にとってはあまりにも大きな打撃を受け命がけで企業防衛、維持のために身も心も多忙をきわめ、心ならずも休刊の止むなきに至ったものです。しかしより上を、そして自らの発展をめざす仲間は、いつまでも止っては居りません先陣の意気込みに再び再スタートをする事になりました。

幸この度は東京港埠頭公社様の御理解と協力を得る事が出来ました。ここにあらためて御礼を申し上げます。そして冒頭に申し上げました様に連合会は発足以来11年になり島全体の様子が見えて来ました。企業数もほゞ倍増して居ります。発足以来ビジョン委員会として新聞をはじめ島内に於けるあらゆるものに積極的に取り組んで来ましたが近年そのあり方が解りづらいつつとゆう声も多くなり、実状に合った



組織づくりに取り組み、昨年10月の総会に於て確立されました。ここに新しい組織図を示します。そしてそれぞれの委員会が充分機能する様がらばって参りたいと思います。皆様方の御理解と御協力をお願いしまして御挨拶いたします。

城南島連合会の御案内

城南島連合会は下記の連合会規約に示す目的事業を実施するためのものです。

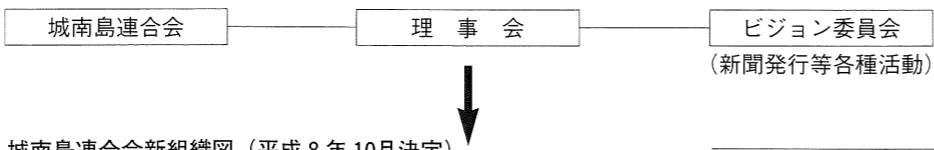
城南島の中で事業活動をしていても一社単独では

<p>城南島連合会規約</p> <p>第1章 総則 (抜粋)</p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、城南島連合会と称する。</p> <p>(事務所)</p> <p>第2条 本会は、事務所を東京都大田区に置く。</p> <p>(目的)</p> <p>第3条 本会は、会員及び会員の従業員の福利厚生、親睦を図り、地域の交通、環境の整備を促進し、城南島地区の発展向上に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>1) 会員及び会員の従業員の福利厚生の改善向上。</p> <p>2) 会員の交流を図る事業。</p> <p>3) 通勤、交通の形態、施設の整備促進。</p> <p>4) 地域環境の改善整備。</p> <p>5) 前各号の事業に附帯する事業。</p>

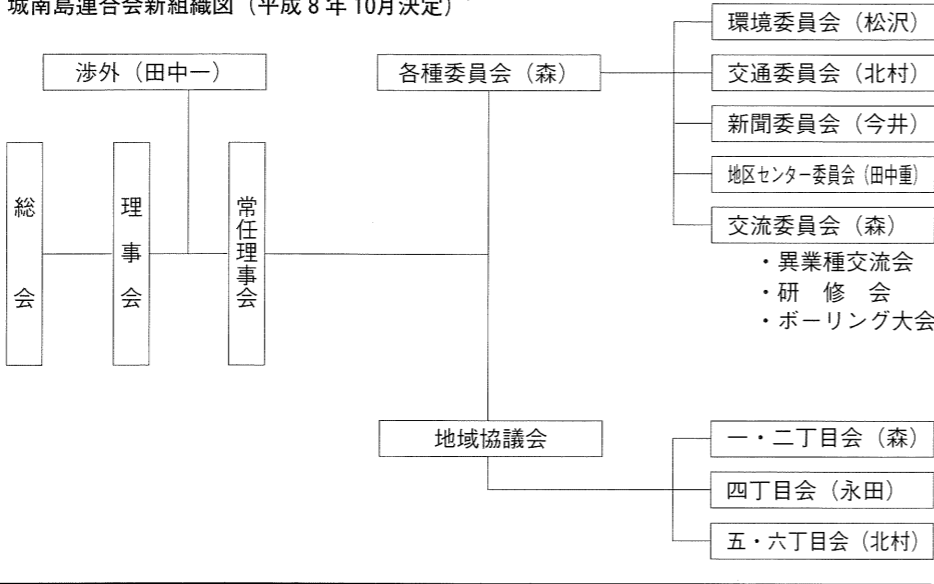
どうにもならない問題がたくさんあります。そんなときに城南島の中の一社ではどうにもならないことを共同してやっていくためにあります。また、城南島のイメージアップ、知名度の向上、利便性の向上など継続して努力していかなければならないこともたくさんあります。そのために、平成8年10月に城南島連合会の組織を改めてビジョン委員会でやっていく各種活動を

委員会制にして仕事を分担して実施できるようにしました。また地域協議会をもうけて各地域ごとの情報や問題点を集めやすくしました。各種委員会の委員はできるだけ、島内の各地域ごとに選任しておりますので、なにかこれはという問題がありましたら、各委員または地域協議会担当にお気軽に相談して下さい。

城南島連合会旧組織図



城南島連合会新組織図 (平成8年10月決定)



各委員長のあいさつ

地区センター委員長 田中重雄

城南島タイムズ再刊おめでとうございます。これからも城南島地域の細かな情報をよろしくお願い致します。

さて、城南島進出企業の従業員の福利厚生を計る目的をもって、地区センターの設置を平成5年以来進めてまいりました。その規模としては敷地が7,300㎡施設として、ガソリンスタンド、売店、銀行、郵便局、健康センター、貸会議室、公衆トイレ、駐車場などを建設し地域の中心として発展させたいとのことでした。平成7年に多少規模は縮小されましたが基本設計に入るとの事でした。

しかし、その後の経済情勢にもよるのでしょうか計画の進捗が捗々しくないようです。これからは関係官庁の対応如何かとは思いますが、実現にむけてじっくりと取り組んでいきたいと思っております。

新聞委員長 今井準一

このたび、はからずも新聞委員長を仰せ付かった今井でございます。よろしく願いいたします。

連合会のビジョン委員会で1号から7号までの新聞発行を担当された城南島工業(協)の川上さん、三谷さん、(協)テクノ城南の漆畑さん。どうも御苦勞様でした。

これからは、前任者の基礎を大事にしてやってい

きたいと思います。

さて、年初に行った新聞発行の申し送り、打合せでは前任の3氏より、「新聞発行はネタが命」今までの経験だと記事が出つくて、なくなってしまうのが最大の問題だ、というアドバイスがありました。

今回再刊する新聞も、このことを肝にめいじて、ネタ集めに努力いたしますので、その節は皆様の強力なバックアップをいただきたいと思います。

城南島タイムズは埠頭公社さんと協力して行政情報の提供と城南島で働いている人のコミュニケーションをはかるために、年2回発行というふうに決まりましたのでその一助となるべく新聞委員一同で頑張りますのでご支援をよろしくお願い申し上げます。

交通委員長 北村幹男

このたび、はからずも猪狩会長から交通委員長の指名を受けました北村でございます。

さて、当地区は、1)都心から遠くかつ公共の交通手段が必ずしも十分ではないため、マイカー通勤者が多いこと2)最近、当地における諸施設の増加に伴い、業務車両も増加していることなどから、さまざまな交通問題(交通渋滞、交通安全対策、路上駐車問題など)が発生しています。

また、今後も「城南島産業廃棄物破砕処理施設」の完成(本年9月末の予定)とが東京港臨海道路の開通(平成12年度末の予定)に伴い、交通量も飛躍的に増加し、交通問題が深刻化するものと予想されております。

このような事情から、当地に公共的な駐車場を設けてほしいという声が強くなり、先般も猪狩会長に

同行して、東京都港湾局開発部に対して駐車場開設の陳情をして参りましたが、当局においても、当地の実情を理解され、前向きに検討して頂けるような感触でした。

今後とも、交通委員会の活動にご協力をよろしくお願い致します。

5・6丁目地域協議会 北村幹男

日頃は、私どもの荷主さんの大型車両が皆様に何かとご迷惑をお掛けしておりますが、この場を借りまして、まず厚くお詫言申し上げます。

共同組合東京大井コールドプラザ(TOCP)は、平成6年4月に当地で業務を開始いたしました。前面道路が行き止まりであり、当時、かなりの交通渋滞が予想されたので、(株)新東西(現在、新日本コールド(株)に名称変更)、東洋水産(株)及び(株)中村荷役の方々をメンバーにして、田中一朗さん(当時城南島連合会理事事務局長)にも相談役になって頂き、平成5年10月に「城南島5・6丁目道路対策協議会」(会長中部雷次郎)を結成し、交通問題に取り組んで参りました。

その結果、東京都と東京港港湾運送事業協同組合及び(株)中村荷役のご好意によって、東洋水産(株)の隣地1,285坪を、物流車両の待機場として、新日本コールド(株)および東洋水産(株)と共同で利用させて貰えることとなり、TOCPにおける車両の無線呼び出しシステムの活用と合わせて、交通問題の解決に大きく貢献しております。

環境委員長 松沢 巧

此の度環境委員会委員長を仰せ付かりました松沢です宜しくお願い申し上げます。

去る2月13日委員会を開催致しました。その時とくに気が付いた事を2つ程申し上げます。バス停の廻りがたばこの吸いがら等で汚れ前面の企業が掃除をして戴いて居る訳ですが1人1人が気を付けて迷惑を掛けない様にお願い致します。2つ目は信号で車が止まった時窓より分離帯に向かって空カン弁当の余り箱を絶対に棄てないで下さい。本年度は綺麗な又明るい城南島を目標に皆様と一緒に頑張って行き度たいと思っておりますご協力を

委員会の役員名簿

委員会名	役職	氏名	企業名・組合名	電話番号	
環境委員会	委員長	松沢 巧	大田運送事業(協)	3799-1611	
	委員	池田 求	錆木生コンクリート(株)	3790-1001	
	委員	内川 據 義	城南臨海工業(協)	3799-5626	
	委員	佐藤 典 一	(協)テクノ城南	3790-3500	
	委員	田尾 直 人	東洋水産(株)	3790-5791	
	委員	田久保 隆幸	(株)奈良機械製作所	3790-8021	
	委員	市川 忠 次	大田テクニカルセンター(協)	3790-3350	
	委員	渡辺 寛 治	渡辺ベニヤ(株)	3799-6780	
	交通委員会	委員長	北村 幹 男	(協)東京大井コールドプラザ	3799-8221
	委員	副田 康 英	大井宇部コンクリート工業(株)	3790-2023	
委員	望月 幸 彦	協栄産業運送(協)	3790-5444		
委員	山本 昭 弘	港南工業(協)	3790-8687		
委員	植松 光 弘	日本酒類販売(株)	3799-8151		
委員	宇津木 昭 文	東京港港湾運送事業(協)	3452-3811		
新聞委員会	委員長	今井 準 一	興和運輸(株)	3790-2651	
	委員	福嶋 正 美	新日本ゴールド(株)	5548-1281	
	委員	板垣 周 一	大金工業(協)	3790-1219	
	委員	猿渡 盛 之	東京城南工業(協)	3790-8601	
	委員	田中 雄 一 郎	南進工業(協)	3790-8951	
	委員	渡辺 純 一	品川住宅資材(協)	3458-1916	
	地区センター委員会	委員長	田中 重 雄	日機通商(株)	3742-6525
	委員会	委員	田中 汎 三	京浜トラック事業(協)	3799-2383
	委員	須藤 盛 弥	港南工業(協)	3790-8687	
	委員	太田 一 司	城南島工業(協)	3799-0401	
委員	佐藤 孝	大金工業(協)	3790-1219		
委員	太田 迪 三	都南トラック(協)	3745-3885		
交流委員会	委員長	森 隆	日本熱管工業(株)	3799-2100	
委員	金 田 明	城南臨海工業(協)	3799-5626		
委員	矢野 口 智 一	城南臨海工業(協)	3799-5626		
四町目会	委員	永 田 進	南進工業(協)	3750-6161	

城南島連合会役員名簿

役職	氏名	協同組合名	企業名	電話番号	FAX番号	備考
会長	猪 狩 洋	東京城南工業協同組合		3790-8601	3790-8602	
副会長	森 隆		日本熱管工業株式会社	3799-2100	3799-1010	
〃	松 沢 巧	大田運送事業協同組合		3799-1611	3799-1881	
〃	永 田 進	南進工業協同組合		3790-8951	3799-5965	
〃	塩 沢 有 也	(協)東京大井コールドプラザ		3799-8221	3799-8222	北村
理事	水 戸 武 雄	城南島工業協同組合		3799-0401	3799-0401	事務局長 太田
〃	奈 良 自 起		株式会社奈良機械製作所	3790-8021	3790-8056	田久保
〃	佐 藤 孝	大金工業協同組合		3790-1219	3790-1642	
〃	名 取 輝 能		日機通商株式会社	3742-6525	3742-8186	田中重雄
〃	内 川 據 義	城南臨海工業協同組合		3799-5626	3799-5628	
〃	田 中 一 朗	城南建材事業協同組合		3799-0997		理事長 桐生長英
〃	山 本 昭 弘	港南工業協同組合		3790-8687	3790-8687	
〃	今 井 準 一		興和運輸株式会社	3790-2651	3790-2773	
〃	中 部 雷 次 郎		新日本コールド株式会社	5548-1281	3533-0828	
〃	佐 藤 典 一	協同組合テクノ城南		3790-3500	3790-2665	
〃	渡 辺 純 一	品川住宅資材協同組合		3799-4980	3799-4985	
監事	副 田 康 英		大井宇部コンクリート工業(株)	3790-2022	5492-7043	工場長
〃	田 中 雄 一 郎	南進工業協同組合		3790-8951	3799-5965	

掲 示 板

奈良機械製作所より

2丁目の株式会社奈良機械製作所です。当社は創立以来70年、一貫して粉粒体に関する装置を作っているメーカーです。主な製品は、あらゆる物を粉にする粉砕機・粉に含まれる水分を飛ばす乾燥機です。乾燥機にもいろんな種類がありますが、城南島工場で主に制作しているタイプは、第2種圧力容器に該当するパドルドライヤーです。このドライヤーの部品の溶接を、お手伝いできる方を探しています。

連絡先 3790-8031 資材部 板元です。

連合会より

今まで 案内板、仄ざら、護美箱、テント2張、ビデオカメラなどを(大田区の助成品として)整備してきました。テント、ビデオカメラ等は借出しができますので、必要な方は御連絡ください。

連合会事務局 3790-8601です。

交流委員長 森 隆

PL法、CEマーケティング、I,S,O、9,000&、14,000シリーズ等、企業を取り巻く社会、経済、経営環境は近年大きく変化し、企業が生き残っていくには様々な努力と融合化をしなければ社会から取り残されていきます。

交流委員会は島内(城南島)のみの企業間の取引の場を作り取引を活発にして地域の活性化を計り、人と情報の交流によるビジネスチャンスを作ろうとしているのです。

ざっくり言えば我々中小企業の将来は得意先を増やすか新しい技術を生み出し企業化していかなければ生き残っていきません。交流委員会は、お互いの得意先を紹介し合ったり企業をばいいたいにして自社製品を納入出来るようにしたり、いろいろ工夫し合いながら仕事に結びつけていくことを考える会にすることです。

新年賀詞交歓会を始めとして各種研修会、勉強会、ボーリング大会等の皆様との交流の場を作ることも交流委員会の目的です。

城南島の企業の志ある企業戦士よ!! 皆様の多数の参加を期待いたします。